ちょっと挑戦

リコーダーで「アルプス一万尺（ヤンキー・ドゥードゥル）」を吹こう

Yankee Doodle

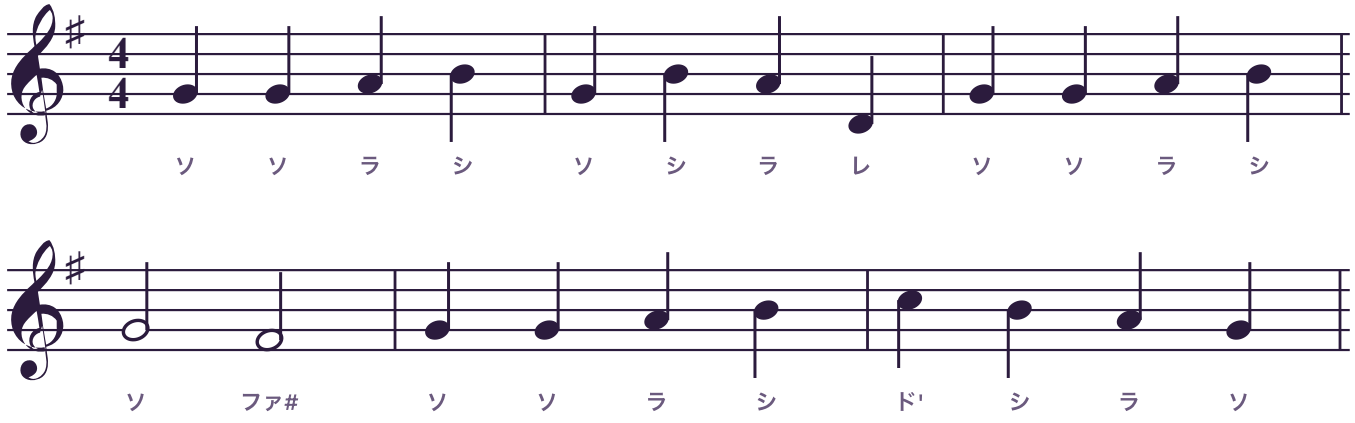
リコーダー「アルプス一万尺（ヤンキー・ドゥードゥル）」のドレミ楽譜。音ごとの運指つき。

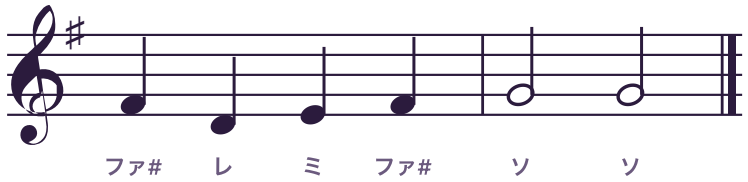
18世紀のアメリカの歌で、日本では「アルプス一万尺」のメロディーとしておなじみです。速くてはずむような曲で、ファ#を使います。 使う音は7つ：低いレ・低いミ・ファ#・ソ・ラ・シ・高いド。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

音

長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜





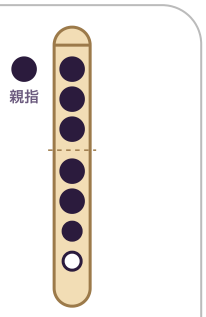
同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

ドレミで書いた音

ソ ソ ラ シ ソ シ ラ レ ソ ソ ラ シ ソ ファ# ソ ソ ラ
シ ド' シ ラ ソ ファ# レ ミ ファ# ソ ソ

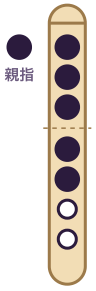
「'」は高い音のしるしです：高いド。ソプラノリコーダー用です。

運指



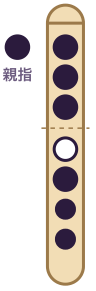
低いレ

親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6番の穴をふさぐ



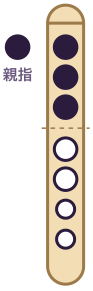
低いミ

親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ



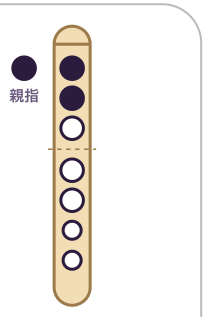
ファ#

親指の穴をふさぐ、1・2・3・5・6・7番の穴をふさぐ



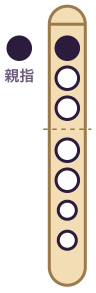
ソ

親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ



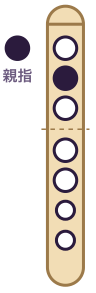
ラ

親指の穴をふさぐ、1・2番の穴をふさぐ



シ

親指の穴をふさぐ、1番の穴をふさぐ



高いド

親指の穴をふさぐ、2番の穴をふさぐ

「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1〜3番の穴）、右手が下（4〜7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。
- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。
- 低いレはいちばんやさしい息で、すべての穴をしっかりふさぎます。ピーッと鳴ったら、まず下のほうの指を確かめましょう。
- ジャーマン式のリコーダーでは、ファ#は親指と1・2・3・5・6・7番の穴をふさぎ、4番をあけて吹きます。
- 高いドは、人さし指（1番）をはなして、親指と2番の穴をふさいだままにします。